

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

平成30年6月15日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹種	数量(m ³)		
30	三重	スギ・ヒノキ	255	2	
31	和歌山	スギ・ヒノキ	3,835	1	
32	島根	スギ・ヒノキ	860	2	
33	岡山	スギ	2,130	2	
34	三重	原料材N	400	1	
35	滋賀	原料材N	1,300	2	2年協定
36	和歌山	原料材N	3,800	1	3年協定
37	島根	原料材N・原料材L	735	3	
38	島根	原料材N	550	2	

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する取組の7項目に取組内容が具体的に記載されており数量的指標が記載されているか、③山元購入単価等の提案内容について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m ³) 原料材N・L(円/t)
30	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 取締役社長 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿、中部地区を中心に、四国や北関東にも事業所がある事から広範囲に及ぶ流通ネットワークが構築出来ており、原木及び製品の往復便を活用し、広域へのローコスト輸送を可能とし実現している。 ・F/Jを活用する事によって本来では利用価値の低い曲材や紀伊半島において深刻な虫害木(アカネ材/アリクイ材)に対し、集成材としての付加価値を見出している。また、木皮・端材を乾燥用ボイラーの熱源利用等、原木に対し高い資源活用性を見出している。 ・未利用材をFIT認定のバイオマス発電所に供給する事に加え、小径木を2×4用の原木として有効利用し、木質資源の更なる有効利用が図れるよう進めている。 ・原木素材だけでなく製品に関しても同様に地域材の利用拡大に努めており、奈良県だけでなく三重県・京都府・愛知県の認定工場として実績を残している。 	平均単価 スギ 5,776円 ヒノキ 7,404円

31	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 取締役社長 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿、中部地区を中心に、四国や北関東にも事業所がある事から広範囲に及ぶ流通ネットワークが構築出来ており、原木及び製品の往復便を活用し、広域へのローコスト輸送を可能とし実現している。 ・F/Jを活用する事によって本来では利用価値の低い曲材や紀伊半島において深刻な虫害木(アカネ材/アリクイ材)に対し、集材材としての付加価値を見出している。また、木皮・端材を乾燥用ボイラーの熱源利用等、原木に対し高い資源活用性を見出している。 ・未利用材をFIT認定のバイオマス発電所に供給する事に加え、小径木を2×4用の原木として有効利用し、木質資源の更なる有効利用が図れるよう進めている。 ・原木素材だけでなく製品に関しても同様に地域材の利用拡大に努めており、奈良県だけでなく三重県・京都府・愛知県の認定工場として実績を残している。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 7,285円</p> <p>ヒノキ 9,028円</p>
32	島根県益田市高津7丁目7番16号 株式会社 益田原木市場 代表取締役 阿知波 義雄	<ul style="list-style-type: none"> ・自社で大型トラック、グラブ付きトラックを所有することで、輸送体制の安定化を図るとともに、輸送経費の削減ができる。土場ではグラブ、フォークリフトを使い効率的な選木作業を行っている。 ・素材生産業者より林地残材を集め、自社の移動式チップper機で燃料チップを生産し、県内のバイオマス発電所へ納材している。 ・外材から国産材に樹種転換する製材所(梱包材製材)に対して、積極的に国産材の納材を行っている。 ・毎週市を開催することにより、製材業者や素材出荷者の利便性をはかっている。 ・当社の製品販売部門において、地域の製材所より国産材を仕入れ、公共建築物や民間住宅に国産材の利用促進に努めている。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,473円</p> <p>ヒノキ 7,935円</p>
33	岡山県新見市哲西町矢田3569番地1 株式会社 戸川木材 代表取締役 戸川 睦徳	<ul style="list-style-type: none"> ・自社では7t,10t,15tトラックを所有し、現場に応じた効率的で安全な輸送に努めている。自社所有の土場ではグラブを使用し、効率的に選木や積込を行うことが出来る。 ・自社所有の移動式チップper機で燃料用チップを製造し、県内外のバイオマス発電所へ納材している。 ・FGSとSGECのCOC認証を取得しており、認証材の供給が可能である。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 7,306円</p>
34	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 取締役社長 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿、中部地区を中心に、四国や北関東にも事業所がある事から広範囲に及ぶ流通ネットワークが構築出来ており、原木及び製品の往復便を活用し、広域へのローコスト輸送を可能とし実現している。 ・F/Jを活用する事によって本来では利用価値の低い曲材や紀伊半島において深刻な虫害木(アカネ材/アリクイ材)に対し、集材材としての付加価値を見出している。また、木皮・端材を乾燥用ボイラーの熱源利用等、原木に対し高い資源活用性を見出している。 ・未利用材をFIT認定のバイオマス発電所に供給する事に加え、小径木を2×4用の原木として有効利用し、木質資源の更なる有効利用が図れるよう進めている。 ・原木素材だけでなく製品に関しても同様に地域材の利用拡大に努めており、奈良県だけでなく三重県・京都府・愛知県の認定工場として実績を残している。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,000円</p> <p>原料材L 4,300円</p>
35	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 取締役社長 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿、中部地区を中心に、四国や北関東にも事業所がある事から広範囲に及ぶ流通ネットワークが構築出来ており、原木及び製品の往復便を活用し、広域へのローコスト輸送を可能とし実現している。 ・F/Jを活用する事によって本来では利用価値の低い曲材や紀伊半島において深刻な虫害木(アカネ材/アリクイ材)に対し、集材材としての付加価値を見出している。また、木皮・端材を乾燥用ボイラーの熱源利用等、原木に対し高い資源活用性を見出している。 ・未利用材をFIT認定のバイオマス発電所に供給する事に加え、小径木を2×4用の原木として有効利用し、木質資源の更なる有効利用が図れるよう進めている。 ・原木素材だけでなく製品に関しても同様に地域材の利用拡大に努めており、奈良県だけでなく三重県・京都府・愛知県の認定工場として実績を残している。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,700円</p> <p>原料材L 4,400円</p>
36	和歌山県田辺市新庄町2070番地の3 株式会社 井碓林産 代表取締役 井碓 啓次	<ul style="list-style-type: none"> ・製品化されたチップの輸送を船舶による海上輸送することで、輸送コストがトラック輸送の三分の一以下で済むという大きなコストの縮減が図れる。 ・ふるい分けられたダストやおがくずは食品会社の燃料、剥皮された樹皮は畜産業者の敷料や農家の堆肥の原料として有効利用している。 ・年間2万トンの林地残材等を安定的に集荷し、MDF用やバイオマス発電用にチップ加工をして、森林資源の有効活用を図っている。 ・関西の木製の物流梱包材は南洋材やNZバインが主流であったので、それを国産材に転換してもらうため、強度試験等を行い、国産材のスギやヒノキが劣っていないことをアピール。その成果で、今は安定した国産材梱包用木製品の生産が維持でき、新規需要が開拓された。 ・県等の依頼を受け、各種国家試験や技能講習、安全講習、林業大学校などの講師を年間通じて続けている。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,700円</p> <p>原料材L 4,700円</p>
37	島根県邑智郡美郷町小松地320番地 山興緑化 有限会社 代表取締役 河村 健司	<ul style="list-style-type: none"> ・移動式チップperと中間集積場を確保する事で施業範囲の拡大・増産・入出荷の効率的な流通により輸送費等のコスト削減を図る。 ・チップ製造過程で出るバーク(主な原材料)で堆肥に再生、土壌改良材、法面緑化基盤材として再資源化で付加価値を図る。 ・林地残材を積極的に引取り、発電利用に供し、森林資源の有効利用で健全な森林への循環を図り、森林更新へ貢献する。再資源化を目的に、枝葉、根株、木屑を引取り、堆肥に再生、再び土に戻す取組みで有効利用を図る。 ・エコアクション21(基本理念『土から生まれた物は、土にかえそう』)に取組み、資源の再生利用、再資源化、廃棄物の減量化、環境保全を実践している。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,200円</p> <p>原料材L 4,200円</p>
38	島根県益田市高津7丁目7番16号 株式会社 益田原木市場 代表取締役 阿知波 義雄	<ul style="list-style-type: none"> ・自社で大型トラック、グラブ付きトラックを所有することで、輸送体制の安定化を図るとともに、輸送経費の削減ができる。土場ではグラブ、フォークリフトを使い効率的な選木作業を行っている。 ・素材生産業者より林地残材を集め、自社の移動式チップper機で燃料チップを生産し、県内のバイオマス発電所へ納材している。 ・外材から国産材に樹種転換する製材所(梱包材製材)に対して、積極的に国産材の納材を行っている。 ・毎週市を開催することにより、製材業者や素材出荷者の利便性をはかっている。 ・当社の製品販売部門において、地域の製材所より国産材を仕入れ、公共建築物や民間住宅に国産材の利用促進に努めている。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,000円</p> <p>原料材L 4,000円</p>